

牧之原市津波対策について



市民と行政で津波防災まちづくり





津波防災対策の基本的な考え方

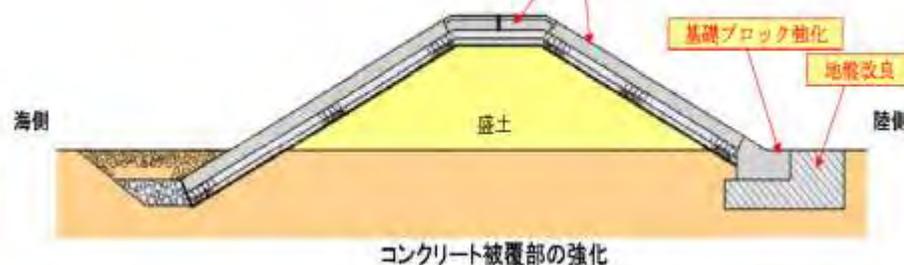
【避難 市：整備目標平成31年】

津波から命を守る「逃げる」ことを重視し、
避難施設12・避難路20箇所などを整備



【多重防御その1 国・県・市整備目標平成35年】

津波防潮堤整備（レベル
1津波）の早期実現



【多重防御その2 市構想策定中】

レベル2津波から生命・財
産を守る「命を守る防潮堤」



牧之原市における津波対策

『実施方針～ロードマップ～』

	津波レベル	対策内容	実施主体者	年次								
				短期								中長期
				H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
ハード対策	レベル1	・堤防嵩上げ ・液状化対策 (粘り強い構造への改良含む)	国県市									
	レベル2	防潮堤のあり方検討・整備	市									
ソフト対策	レベル2	避難施設整備 (12カ所)	市									
		避難路・避難地整備 (20カ所)	市									
		防災倉庫 (29カ所)	市									
防護目標	【レベル1】				人命を守る⇒				財産も守る⇒			
	【レベル2】				人命を守る⇒				安全度の向上⇒			

津波避難施設等の整備計画（予定）

【整備計画】

- 平成26年度整備完了
 - 平成27年度整備予定
 - 平成28年度整備予定
 - 避難路・避難地整備
- ・ 津波避難施設 1箇所
 - ・ 津波避難施設 7箇所
 - ・ 津波避難施設 4箇所
 - ・ H27～30に20箇所整備

【避難施設等の整備計画(案)】

整備種類・箇所数	26年度	27年度	28～30年度
避難施設整備12箇所 (タワー9、ビル1、 いのち山2)	榛原1 相良0	榛原4 相良3	榛原2 相良2
避難路・避難地 20箇所		相良20	年間5箇所整備
防災倉庫 29箇所			



津波避難タワー一等整備計画(榛原地区)

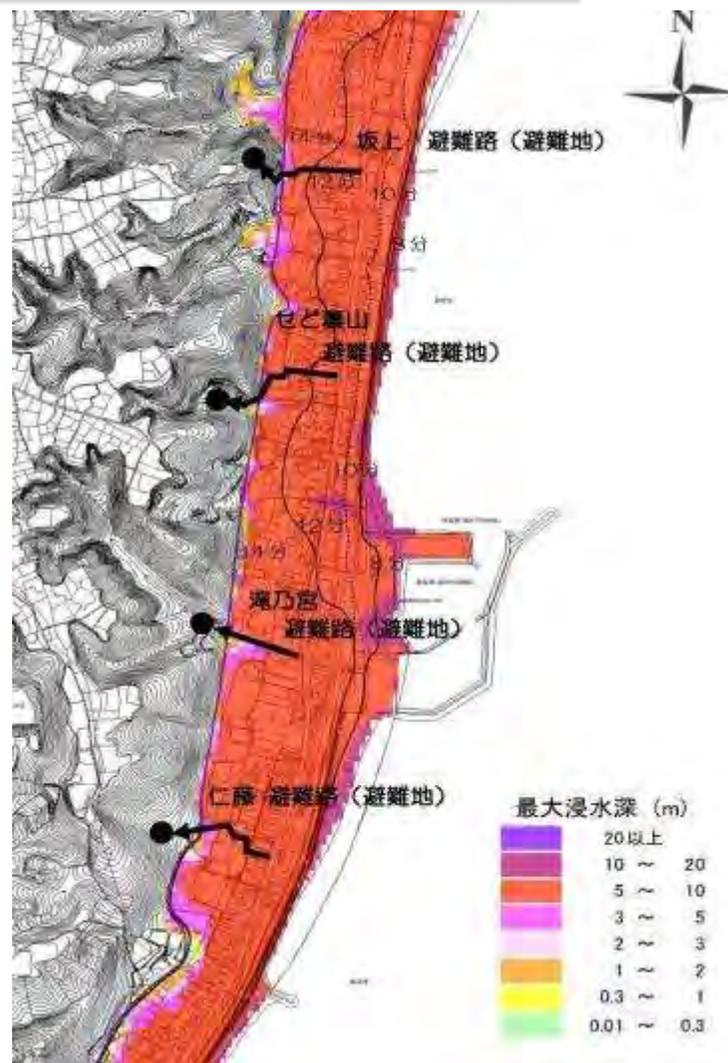
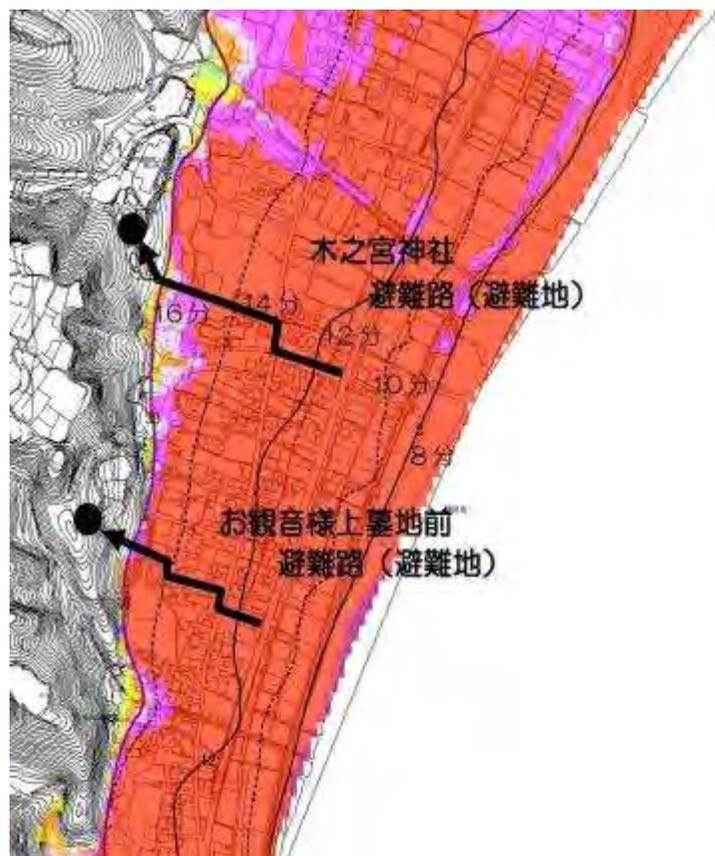


整備目標：平成29年3月



避難路・避難地整備計画(片浜地区)

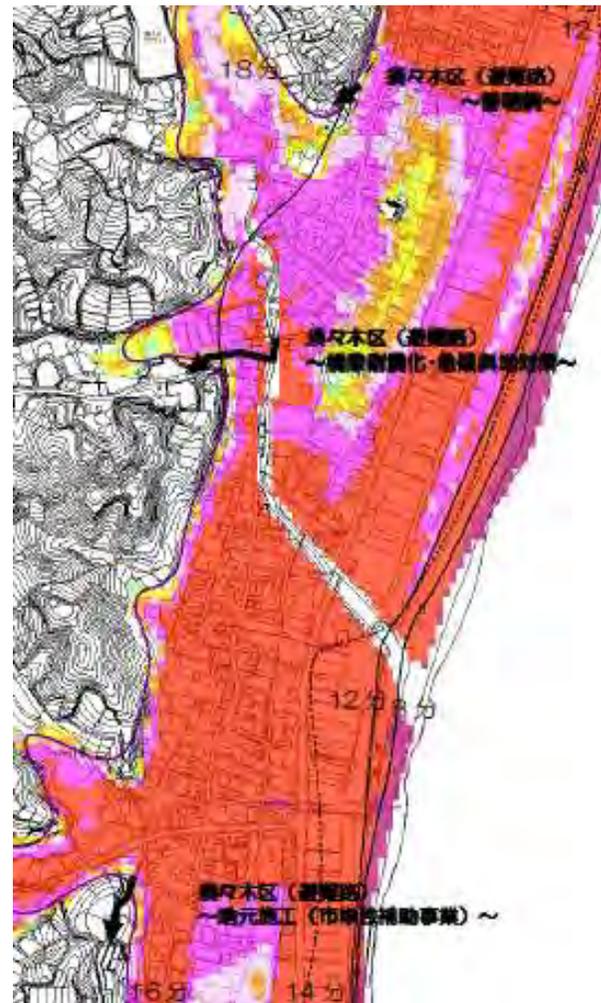
整備目標：平成31年3月





避難路・避難地整備計画(相良地区)

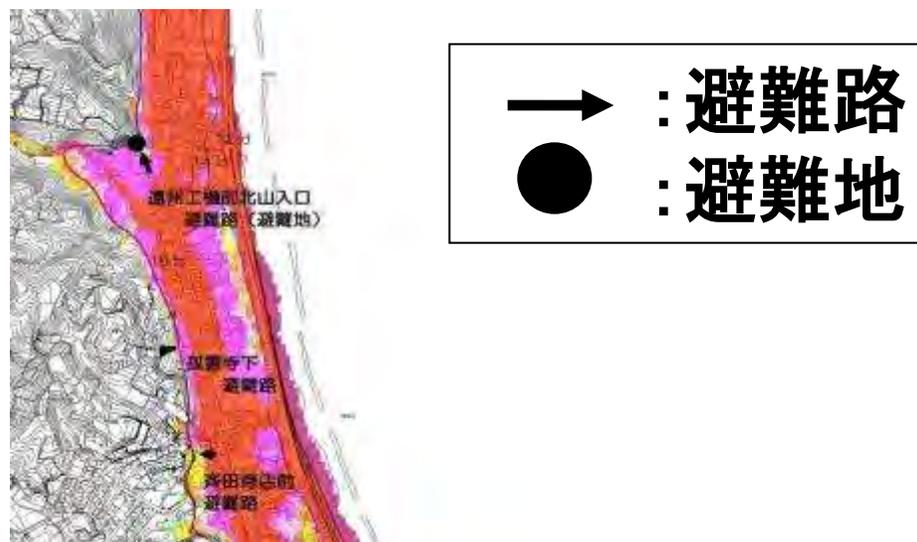
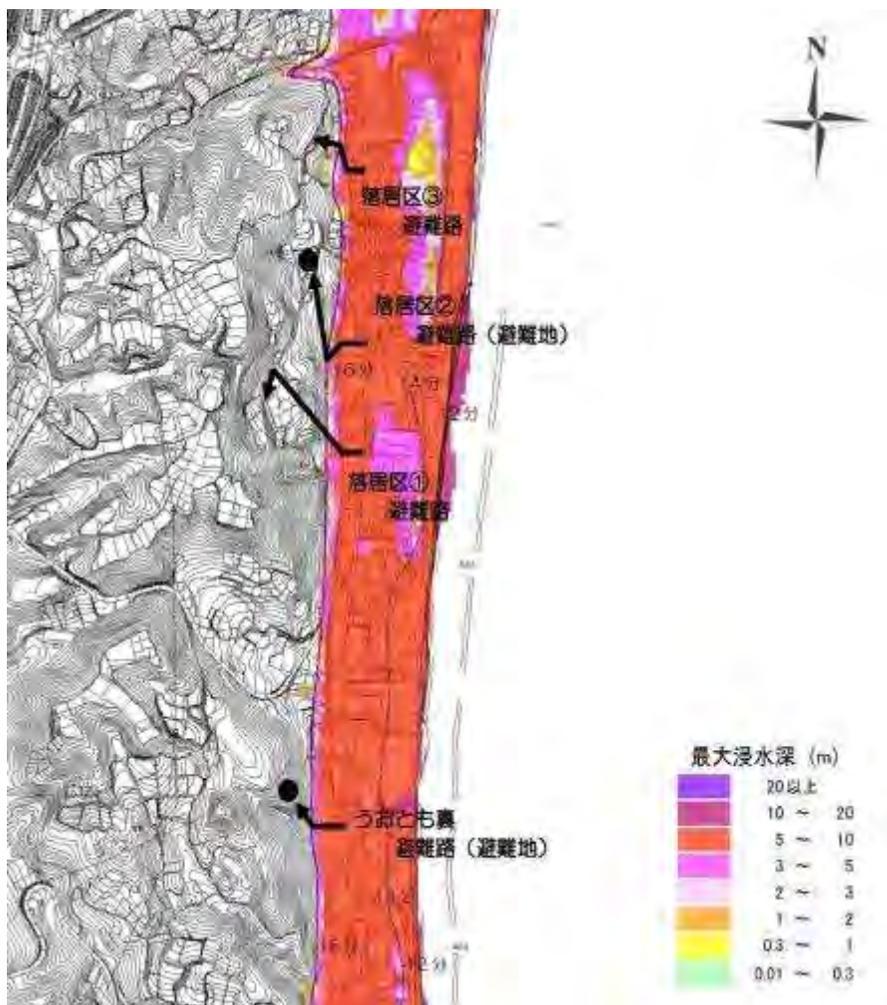
整備目標：平成31年3月

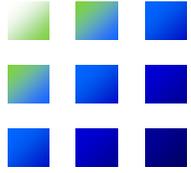




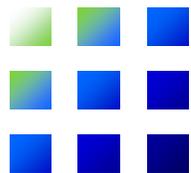
避難路・避難地整備計画(地頭方地区)

整備目標：平成31年3月





牧之原市命を守る防潮堤検討会



細江地区

命を守る防潮堤について考える会

【結果報告】

【平成27年3月牧之原市】



細江地区について

- ・ 細江小学校区（自治会は細江区のみ）により構成される地区
- ・ 坂口谷川沿いに広がる地域で、川崎地区とともに旧榛原地域の市街地を形成する
- ・ 細江地区の面する海岸線は800mほどで、海岸から国道150号までの間は主に畑として利用されている
- ・ 住宅地は広い低地となっているが、比較的海岸から距離があるため、原則は避難路を利用しての避難となる
- ・ 現在、津波対策として避難タワー1基を整備した





命を守る防潮堤について考える会の様子



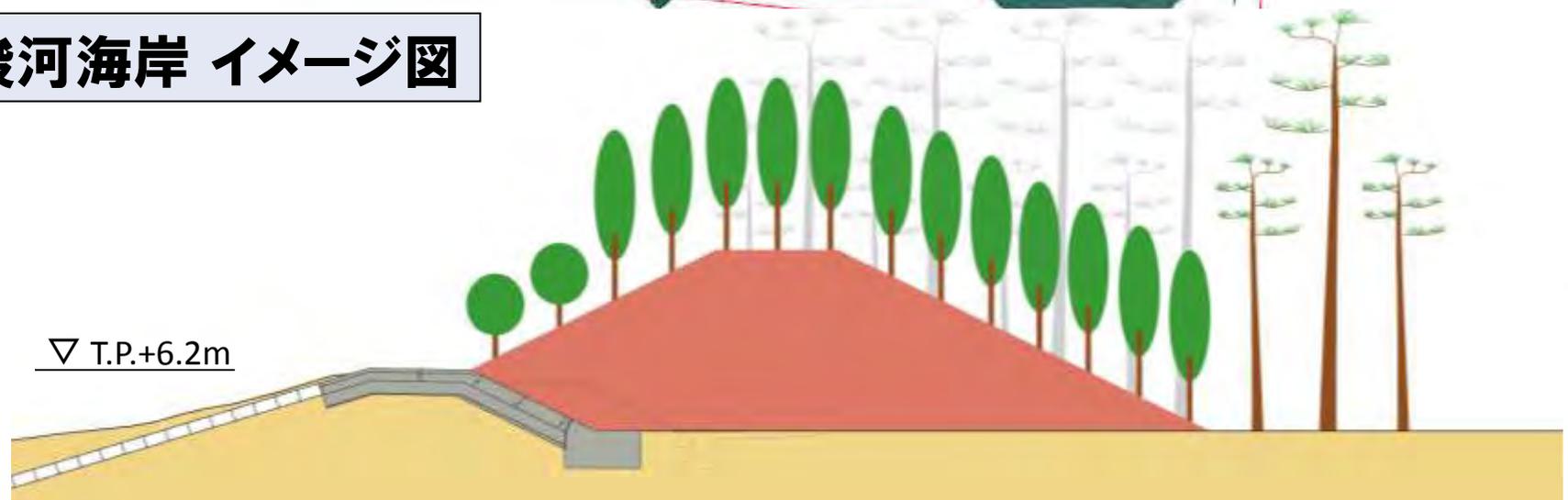
第1回 10月17日・第2回 11月23日・第3回 12月1日
会場：細江コミュニティセンター

津波対策(レベル2)【駿河海岸 イメージ図】

駿河海岸 (細江地先)



駿河海岸 イメージ図



26.3.23 静波海岸 いのちを守るもりづくり

